

## 2023 年度

### ニチイキッズのっぽろ駅前保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024 年 1 月 9 日（火）～1 月 31 日（水）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し、自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024 年 2 月 28 日（水）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化して改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	児童の人権や人格、虐待防止に関わる基本的な知識について、園内研修の中で定期的に再確認をすることで望ましい姿は確立している。今後も定期的に再確認する機会を設けることは必要と言える。
子どもの発達援助	食に関しては、調理と保育が連携を取りながら実施できた。その年の子どもたちの興味関心に合った食育を今後も目指していく。また、園内研修を通して誤食やアレルギー等の勉強を繰り返し行うことで理解が深まった。環境の領域については、やや不十分と感じている項目があり、今後は園内研修などを通して保育内容の工夫と充実に努めていく。
保護者に対する支援	計画的に「子育てひろば」を実施できたことが評価に現れた。今後も計画的に実施し、地域に開かれた保育園、地域の保護者支援に努めていく。在園の保護者に対する支援は、全職員が努力し対応してきた。保護者一人一人に寄り添った支援ができるよう、さらに学んでいきたい。
保育を支える組織的基盤	会議や園内研修では、全職員が意欲的に参加できるようになってきている。自己研磨していきたいという思いを持っている職員も多い。今後、学んだことを他の職員と共有したり、活かせる場を設けたりしていきたい。

総評
児童の人格を尊重し、子どもの興味関心を大切に「子ども主体」の保育を基本として、自尊心や自己肯定感を高める関わりを目標にしている。今後も一つ一つの関わりを丁寧にしていきたい。やや不十分と感じている項目や保育、保護者支援等を課題とし、職員間の連携を大切にしながら、保護者と共に児童の成長を支える保育を次年度も目指していく。